

救急医療体制検討部会 審議結果

小児科初期救急医療体制における
夜間急病センターの拠点化について
(令和7年4月3日開催)

審議会への提案事項

夜間急病センターを小児科休日拠点として利用するにあたり、小児休日拠点の運営に求められる体制（案）は、

①拠点として必要な診療体制数

年間を通じて**2診療体制**が必要

②拠点として必要な診療レベル

当番医療機関と同レベルのものが**必要**

【要望】現在、小児科初期救急に参画している医療機関の負担が大きく小児休日拠点の開始時期については、令和7年10月を目標に迅速に検討すること

1 拠点の診療体制数

- 持続可能な小児初期救急体制を確保するため、年間を通じて **2診療体制(患者数91.7人※/日×2施設分)**が必要である。

※休日当番病院1施設当たり1日の患者数平均（過去10年間（H26～R5）実績）

		現在		休日拠点設置後（案）	
診療日		診療時間	当番医療機関数	休日拠点・診療数 (夜間急病センター)	当番医療機関
土曜日		13:00～17:00	1	-	1
日曜日、祝日 (※12～3月)		9:00～17:00	3 (※4)	2	1 (※2)
ゴールデンウィーク (R7:5月3日～5月6日)			4		2
お盆 (8月15日、8月16日)			2		0
年末年始	12月29日		4		2
	12月30日～1月3日		5		
1施設あたりの当番回数(R7:推定)			5.6回/年	3.0回/年	

2 拠点の診療レベル

- 求められる診療レベルは、当番医療機関と同レベルのものが必要である。なお、**具体的な内容については、開設に向けて、関係者で調整する。**

項目	方向性案	参考 (夜間急病センターでの現在の対応)
臨床検査	血液(一般、CRP、生化)、尿(定性、沈渣)	血液(一般、CRP、生化)、尿(定性、沈渣)
感染症の迅速検査	インフル、コロナ、アデノ、溶連菌	インフル、コロナのみ
生理機能検査	心電図、エコー検査	心電図、エコー検査
X線・CT撮影	X線のみ	X線、CT
薬剤処方	処方薬の量は、数日分の処方が必要 処方薬の種類(充実が必要) ※院外処方も検討	処方薬の量は、1日分 処方薬の種類(限定的)